

2021年度 外国人留学生・教職員のための確定申告オンラインセミナー 及び個別相談会

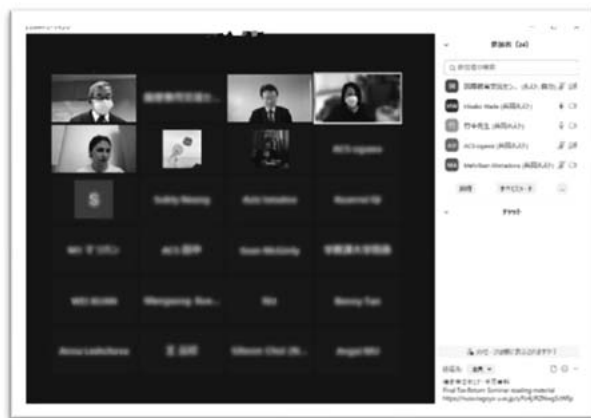
グローバル・エンゲージメントセンター
旧 国際教育交流センターアドバイジング部門
小川美登利・坂田 亜紀

名古屋大学では、2016年度より、「留学生のための確定申告セミナー」を開催している。2017年度より、「外国人留学生・教職員のための確定申告セミナー及び個別相談会」とし、対象を学生だけではなく、研究者、教職員に拡大している。セミナーでは、名古屋税理士会より講師を派遣頂き、逐次通訳（英語）を付け、日本語が得意ではない参加者にも理解ができるよう配慮。税制の基本を説明した後、希望者には個別相談（英語通訳あり・具体的な税額計算はなし）を行なう2部体制で実施している。

今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンラインでの開催とし、実施方法、資料及び内容に関して、質疑応答も含め約1時間という短い時間で効率よく重要な情報を伝達できるよう、関係者間で綿密な打ち合わせを行い、準備を進めた。オンラインセミナー事前受付では、コロナ渦で入国が困難にもかかわらず昨年度を上回る人数の申し込みがあった。セミナー当日は国内だけでなく渡日できていない外国人留学生や教職員合わせて33名の参加があり、6名がオンライン個別相談を利用した。地域貢献の一環として、セミナーのみ近隣大学の関係者にも広報したが、昨年同様問合せや参加は無かった。周知方法が今後の課題となった。

今年度のセミナーでは、一人でも多くの参加者が確定申告をより理解し、確定申告書を参加者が自力で作成提出ができることを目的とした。そのため昨年度はセミナー資料を後日に共有していたが、今年度は事前に配付しセミナーの手元資料として使用してもらった。セミナーは確定申告や租税条約の基本説明の他、控除や書類の種類、事前質問とその回答を含む内容となった。確定申告書の記入方法の翻訳版を画面共有しながら実際に数字を入力して具体的に説明し、「収入」「所得」「所得控除」が記入できるよう工夫した。インターネットでも確定申告書作成提出できるe-Taxの案内や相談窓口のLINE予約方法なども案内した。

毎年、前年度の参加者の声をもとにセミナー内容の見直しを行い、資料形式を改善したり、事前受け付けで疑問等や質問事項を確認しセミナー内で取り上げたりすることにより、質疑応答の時間が活発になり、個別相談のニーズが減少している様子が窺える。同時に、個別性の高い専門的な内容の相談をされる参加者もある。来年度に向けては、オンラインと対面の違いや重要さを考え、どのような開催方法が望ましいのか、さらにはどのような需要があるのかを検討をし、参加者のニーズに合うセミナーと個別相談の実施に取り組んでいきたい。



確定申告オンラインセミナー

